

保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ ⑦

『神野大地ランニング・クリニック！』

津島市から続けてすぐれたアスリートが誕生しています。野球の水谷瞬さん、バスケの山本麻衣さん、パラ・バトミントンの今井大湧さん。そして箱根駅伝で三代目山の神として活躍した神野大地さん。神野選手には津島市の観光PR大使をつとめていただき、さらに愛知県市町村対抗駅伝の監督も引き受けていただいています。11月16日、天王川公園で「神野大地ランニング・クリニック」を開いていただき、午前・午後で百人を超える皆さんがランニング教室に参加してくださいました。神野選手のクリニックでは、正しい姿勢で走ることと体幹を鍛えるストレッチが行われました。とにかく、神野選手の体は柔らかく、肩や肘、腰や膝の可動域が大きいことに驚かされました。参加者が走ることは楽しく、走ることが好きになる教室でした。神野選手を一言でいうなら「ナイスガイ」です。

11月21日、蛭間小で防災講座が行われました。講師は東日本大震災の時、宮城県多賀城市で震災を体験した荒木佐知子氏。氏は防災士であり、震災語り部を名乗って見えます。すてきな氏の描いたイラストがプレゼンのスライドになっていました。1枚1枚のイラストに氏の思いが込められており、会場の子もたちは静かにしっかりと話を聞いていました。「震災で一番困ったのはトイレ。トイレが汚かったり、番がまわってこなかったり」「缶詰のおかずは本当に助かりました」など体験した人ならではの話を聞くことができました。この講座に蛭間小の全学年の子もたちに参加してもらいました。12月21日、この防災学習の成果を「地域社会と共に創り上げる防災学習」というテーマで、愛知教育大学で発表をしてきます。

滋賀県大津市の石山寺に行ってきました。尾張一宮駅から在来線に乗り、米原で乗り継いで新快速で行ってきました。石山まで約2時間の鉄道旅行。新幹線とはちょっと違う旅行気分を味わいました。石山寺、今年はNHKの大河ドラマの影響もあり、また紅葉の時期と重なり、多くの人がおみえになりました。紫式部が源氏物語のストーリーを温め、書いた場所として有名です。小高い丘（山の中腹）に、寺や資料館がありました。静かな風景は源氏物語の雰囲気ぴったりで、何となく癒されました。歌碑や紫式部の銅像を写真に収め、帰ってきました。

干し柿やカメラ片手に街歩き

令和6年12月2日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視